

日本海セトロジー研究会第15回大会プログラム

日本海セトロジー研究会第15回大会プログラム

開催日 2004年7月3日(土)・4日(日)

会場 石川県立生涯学習センター

〒920-0962 金沢市広坂2丁目1-1 石川県広坂庁舎1号館 TEL 076-223-9571

7月3日(土) 公開講演会・シンポジウム・懇親会	
開始時間	
12:30	受付
13:00	開会あいさつ
13:15	公開講演(参加無料) S1 演題：“日本海のクジラたち”の謎をさぐる 講師：山田 格(国立科学博物館) S2 演題：ツノシマクジラ - 新たに記載されたナガスクジラ属鯨類 - 講師：和田志郎(中央水産研究所) S3 演題：日本海のコククジラ回遊ルート 講師：南部久男(富山市科学文化センター)
15:30	休憩
15:45	公開シンポジウム(参加無料) 『日本海のクジラたち その謎と現代的意義』 特別講演の講師3名と以下のパネリストが参加します。 大石雅之(岩手県立博物館)・梶原夏子(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)・高橋勲(のとじま水族館)・長澤一雄(霞城学園高校・山形古生物研究会)・平口哲夫(金沢医科大学, 司会)
17:00	閉会
18:30	懇親会 会場：KKRホテル金沢(〒920-0912 金沢市大手町2-32 TEL 076-264-3261)

7月4日(日) 研究発表会・総会		
研究発表会座長	O1～O4 石川 創(日本鯨類研究所) O5～O8 中村幸弘(上越市立水族博) O9～O11 箕輪一博(柏崎市立博物館)	
開始時間	番号：演題	発表者(所属)
9:00	O1：山形県立川町科沢層の鯨類化石 200万年前の日本海の鯨	長澤一雄(霞城学園高校・山形古生物研究会)・大場 総・阿部龍市(山形古生物研究会)
9:20	O2：鯨類遺残骨盤とその周囲領域に関する比較解剖学的研究 -進化学的ならびに機能解剖学的考察-	田島木綿子(東京大学大学院)・林 良博(東京大学大学院)・山田 格(国立科学博物館)

日本海セトロジー研究会第15回大会プログラム

9:40	03 : ツノシマクジラ <i>Balaenoptera omurai</i> の分類学的地位を頭骨の形態学から確立する	大石雅之(岩手県博)・山田 格(国立科博)・和田志郎(中央水産研究所)・姚秋如(國立台灣大學)・陳彥君(國立自然科博)・王建平(國立成功大學)・周蓮香(國立台灣大學)・倉持利明・角田恒雄(国立科博)・田島木綿子・地曳会美(東京大学大学院)・新井上巳(東京医科歯科大学大学院)・梅谷綾子(麻布大学大学院)・山本 智(九州大学大学院)・海野 卓(日本ペット&アニマル専門学校)・李明華・邱榮鐸・林雅容(中華鯨豚協會)・林耀源(行政院農業委員會林務局)・祁偉廉(中華民國自然生態保育協會)・黃怡凡(國立屏東科技大學)・戸島 昭(山口県文書館)・藤岡茂夫(つのしま自然館)
10:00	04 : 鹿児島県にストランディングしたタイヘイヨウアカボウモドキ	山田 格(国立科学博物館)・久保信隆(いわワールドかごしま水族館)・石川創(日本鯨類研究所)・角田恒雄(国立科学博物館)・後藤睦夫(日本鯨類研究所)・Merel Dalebout(University of Auckland)
10:20	休憩(10分)	
10:30	05 : オウギハクジラの歯の成長線におけるGLG(growth layer group)と年周期の再考察	新井上巳(国立科博・東京医科歯科大学大学院)・高野吉郎(東京医科歯科大学大学院)・山田 格(国立科博)
10:50	06 : オウギハクジラ (<i>Mesoplodon stejnegeri</i>) におけるMHC遺伝子多型解析	曾根恵海(九州大学大学院)・角田恒雄・山田 格(国立科博)・西田 伸・小池裕子(九州大学大学院)
11:10	07 : オウギハクジラおよび鯨類各種の筋肉を用いた窒素・炭素安定同位体分析	谷田部明子・三原正三・小池裕子(九州大学大学院)
11:30	08 : 2003年度における佐渡海峡の佐渡航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録	本間義治(新潟大院医歯)・古川原芳明(佐渡汽船)
11:50	昼食(70分)	
13:00	ポスター・ディスカッション	
	P 1 : 漂着専門委員会報告 ; 日本海のストランディングレコード 2002-2003	石川創((財)日本鯨類研究所)・山田格(国立科博)・蛭田密(Aquatic Animal Consulting)
	P 2 : コククジラの記録集成と通過海峡	宇仁義和(ユニス:宇仁自然歴史研究所)
	P 3 : 噴火湾の定置網に混獲されるネズミイルカについて	宮下篤子(北海道大学大学院)・伊藤精英(公立はこだて未来大学)・大谷誠司・西脇茂利(日本鯨類研究所)・本間義治(新潟大学大学院)・松石 隆(北海道大学大学院)
	P 4 : 津軽海峡における鯨類の種構成と地理的・季節的分布について	須藤竜介・飯塚慧・内宮万里央・浦西茉耶・川南拓丸・楠目祐子(北海道大学鯨類研究会)・松石隆(北海道大学大学院)
	P 5 : 2002年6月以降に得られた新潟県沿岸・沖合における鯨類等の目撃・漂着記録	中村幸弘(上越市立水族博)・箕輪一博(柏崎市立博)・青柳 彰(寺泊町立水族博)・進藤順治(新潟市水族館)・本間義治(新潟大学医学部)

日本海セトロジー研究会第15回大会プログラム

	P6：富山湾の海上における鯨類の目撃記録	関東雄(前富山県水産漁港課)・南部久男(富山市科学文化センター)・山田格(国立科博)・石川創(日本鯨類研究所)
	P7：金沢沖の海底から発見されたイシイルカ頭蓋骨について	山本 智(九州大学大学院)・平口哲夫(金沢医科大学)
	P8：スナメリ新生児保護飼育事例	○木下克利・中村雅之(マリンワールド海の中道)
	P9：日本海沿岸を中心とした漂着海棲哺乳類に関する肉眼病理学的報告 -2003.05～2004.04-	田島木綿子(東京大学大学院)・関谷伸一(新潟県立看護大学)・栗原望(名古屋大学大学院)・南部久男(富山市科学文化センター)・真柄真実(鳥取大学)・新井上巳・梅谷綾子・山田格(国立科博)
	P10：ミトコンドリアDNAを指標とした日本近海におけるコマッコウ属の遺伝的多様性	角田恒雄(国立科博)・浅川弘・山本康夫(下田海中水族館)・秋山章男(九十九里浜自然誌博)・酒井孝・稻葉暢弘(アクアワールド・大洗)・水嶋健司(下関市立しものせき水族館)・平治隆(ふくしま海洋科学館)・佐々木恭子(いおワールドかごしま水族館)・藤田健一郎(6 Dorsals)・小木万布(三重大学)・菱井徹(御蔵島イルカ協会)・斎藤豊・伊藤美穂・谷重乃里江(名古屋港水族館)・祖一誠(鴨川シーワールド)・島田章則(鳥取大学)・安藤重敏(鳥取県博)・石川創(日本鯨類研究所)・山田格(国立科博)
13:30	09：日本沿岸に漂着した鯨類の有機ハロゲン化合物汚染とその蓄積特性	梶原夏子・荒金玉実・上川智子・田辺信介(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)・山田 格(国立科博)
13:50	010：イルカ・イデオロギーについて考える 藤原英司氏の場合	三浦淳(新潟大学人文学部)
14:10	011：七尾湾奥部の三引遺跡における縄文時代前期初頭貝塚出土の海生哺乳類遺体	平口哲夫(金沢医科大学)・金山哲哉(石川県埋蔵文化財センター)
14:30	ビデオ上映：七尾湾に定住するハンドウイルカ	提供：大田希生(水中カメラマン) 解説：台蔵正一(あすなろ目高文庫)
14:50	休憩(10分)	
15:00	総会	
16:00	閉会あいさつ	